

# 活動状況報告書

1 事業名称 自主防災告知と訓練事業

2 実施主体

▪ 団体名： 栗ヶ沢中学校地域防災委員会

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

## I 収容避難所開設運営訓練の実施

日付	作業内容
6月21日	栗ヶ沢小学校および貝の花小学校との打合せ
7月25日	栗ヶ沢小学校小委員会発足会議
8月23日	栗ヶ沢小学校小委員会第二回会議
8月30日	貝の花小学校小委員会発足会議
9月19日	栗ヶ沢小学校小委員会第三回会議
9月20日	貝の花小学校小委員会第二回会議
10月18日	貝の花小学校小委員会第三回会議
11月7日	両小学校訓練事前準備
11月8日	両小学校収容避難所開設運営訓練当日、避難所開設のおよび運営の訓練を地元住民と行う。参加者は両校合わせて約480人。(両校訓練のチラシは別紙)
12月6日	貝の花小学校訓練まとめの会
12月12日	栗ヶ沢小学校訓練まとめの会

## II 講演会の実施

日付	作業内容
10月11日	講演会打合せ
11月15日	講演会打合せ
11月20日	チラシ印刷、配布開始(チラシは別紙)
12月6日	講演会準備
12月13日	講演会の開催 講師飯野幸子氏、町山裕美氏、宮間恵美子氏、参加者70人。会場は栗中食堂。

日 付	作 業 内 容
1月24日	アンケート内容打合せ
1月31日	アンケート内容討議
2月3日	アンケート印刷、配布開始
2月10日	アンケート回収開始
2月24日	アンケート集計作業
3月1日	アンケート結果公開

#### 4 事業成果について

##### (1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

##### 1. 講演会等による自主防災の重要性の告知

講演会および「栗防通信」の発行により、告知は継続的に行ってきた。地域住民への周知度の具体的な調査は現在行っているアンケートの結果を待たなくてはならないが、少しずつ上がってきていると感じている。

##### 2. 個人的備蓄の推奨。効果は二回のアンケート実施により測定。平成24年度初期の飲料水備蓄割合はおよそ50%。目標は80%。

収容避難所開設運営訓練に時間を取られ、アンケートは一回しか実施できなかった。目標達成かどうかを見るには現在行っているアンケートの結果を待たなくてはならない。

##### 3. 避難計画の周知。効果は二回のアンケート実施より測定。

避難計画は各町会・自治会によりまちまちなため、周知自体は各町会・自治会の自主性に任せているが、その周知度は現在行っているアンケートの結果により測定できる予定。

##### 4. 防災訓練による避難所立ち上げ及び運営の習得。

今年度特に力を入れて行った。訓練は栗ヶ沢小学校および貝の花小学校で同日開催した。それぞれ小学校に準備のための担当町会による小委員会が結成され、4回以上の打ち合わせを行い、収容避難所開設および運営のための準備や議論を行った。運営に携わってくれた方々の防災に対する知識および意識は大きく変わったと感じる。細かい点では反省点も多々あるが、非常に役に立ったと考える。

(2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

地域での防災において特に大切だと考えるのは、地域住民自身の防災に関する知識と意識である。これらに関する国、県、市、の情報発信では不十分と考え、これらが課題だと考えた。この単年の自主防災告知事業で地域全住民の意識を変えることは不可能だが、事業を通じてその重要性が徐々に浸透し始めていると考える。浸透度は現在行っているアンケートにより測定する予定。

5 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

自主防災に関する告知は単年度で完了できるものではなく、継続して行っていくことが重要と考える。今後も告知事業は継続する。

## 収支決算書

### 【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	栗中地域防災委員会拠出金	¥ 100,000	¥ 155,030	¥ ▲55,030	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 100,000	¥ 155,030	¥ ▲55,030	/
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	団体拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 10,000	¥ 1,260	¥ 8,740	
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②) + a③	¥ 110,000	¥ 156,290	¥ ▲46,290	/
	市 松戸市助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 210,000	¥ 256,290	¥ ▲46,290	/

### 【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考	
助成金の 交付対象経費	報償費	¥ 50,000	¥ 0	¥ 50,000	講師が松戸市職員のため謝礼金なし	
	印刷製本費	¥ 100,000	¥ 96,787	¥ 3,213	チラシ、会議資料等	
	消耗品費	¥ 32,000	¥ 158,243	¥ ▲126,243	防災訓練	
	使用料	¥ 8,000	¥ 0	¥ 8,000	会場使用料	
	保険料	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	防災訓練保険料は松戸市が負担	
	対象経費の合計(D)	¥ 200,000	¥ 255,030	¥ ▲55,030	/	
	(その他 対象外経費)	雑費	¥ 5,000	¥ 1,260	¥ 3,740	
		栗防備品補充費	¥ 5,000	¥ 0	¥ 5,000	
その他経費の合計額 (E) = (a③)		¥ 10,000	¥ 1,260	¥ 8,740	/	
合計額 (F) = (D+E)	¥ 210,000	¥ 256,290	¥ ▲46,290	/		

#### 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) - 事業費収入額 (a②) - 市民活動助成金 (B)」と同額となること。
- 4 助成金 (B) が、1事業あたり10万円以内であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額

¥

-

団体名 栗ヶ沢中学校地域防災委員会  
 代表者氏名 委員長 小林 俊夫

## 収支内訳書

## 【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 155,030		
		¥ 0		
	団体拠出金 (対象外経費)	¥ 1,260		
市	松戸市助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 256,290		

## 【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の 交付対象経費	1 報償費	¥ 0		
	2 印刷製本費	¥ 96,787	詳細は別紙参照	訓練チラシ、講演会チラシ、栗防通信、会議資料等
	3 消耗品費	¥ 158,243	詳細は別紙参照	訓練用ベスト、訓練用消耗品等、資料印刷用インク等
	4 使用料	¥ 0		
	5 保険料	¥ 0		
対象経費の合計		¥ 255,030		
その他経費	雑費	¥ 1,260		
	その他経費の合計	¥ 1,260		
合計額		¥ 256,290		

## 活動状況報告書

1. 事業名称                    市民後見人養成講座事業
2. 実施団体                   認定NPO法人東葛市民後見人の会
3. 事業実施の内容

### 市民後見人養成講座の実施

日 付	作 業 内 容
26年 5. 12	松戸支部会（以下支部会）にて養成講座実施グループを立ち上げる 開催概要決定
6. 中旬	会場として予定していた勤労会館・市民会館の先行予約が難しい旨判明
7. 12	支部会にて会場を松戸商工会議所に変更、募集定員を50名に増員
8. 14	支部会にて開催日程、カリキュラム原案、受講生募集チラシ原案検討
9. 01	支部会にて①後援依頼先の決定；松戸市、市社協、さわやか福祉財団他 ②講師の依頼スケジュール、③開催記事：市広報誌、月刊新松戸、④ その他項目の作業スケジュールの確認、及役割分担等打ち合わせ
9月中	講師への講義依頼及び日程調整など（高齢者支援課、社協、松戸警察署他）
9. 17	松戸市高齢者支援課：後援申請提出
9. 17	松戸市社会福祉協議会：後援申請提出
10. 13	支部会にて準備進捗状況のチェック
10. 30	受講生募集チラシの印刷1500枚（矢切サポートセンターにて）
11. 10	支部会にて各会員からも開催のPR及び知人への参加呼び掛けのお願い
11. 12	松戸市高齢者支援課：チラシの配布依頼（600枚）
11. 12	松戸市社会福祉協議会：チラシの配布依頼（400枚）
11月末	松戸市市民自治課：チラシの配布依頼（勤労会館他）
11～12月	チラシのDM発送（介護事業所、これまでの当会の講習会参加者など）
12. 01	支部会にてチラシ配布及び声掛けの徹底
12. 01	①松戸広報誌に開催記事掲載、②月刊新松戸に開催記事掲載
12. 08	「たすけあいの会ふれあいネットまつど」訪問し会員にチラシ配布のお願い
12月中	市民後見人養成講座プログラムの作成（事務局）
12. 13	アロマセラピーの会（松戸商工会議所）にて養成講座開催案内
12. 15	チラシ追加印刷500枚（矢切サポートセンターにて）最終2500枚
12月中	申込者への受付票の発送（事務局）
12. 31	53名の方から参加申込みあり

日付	作業内容
27. 1. 5	支部会にて開催日程、時間帯の確認、役割分担の確認等
1. 08	プログラム、講義レジメの印刷（矢切サポートセンター）
1. 17	養成講座第1日目、45名参加（インフルエンザ等にて直前キャンセルあり）
1. 19	講義レジメ印刷（矢切サポートセンター）（講座2日目分）
1. 24	養成講座2日目開催
1. 27	講義レジメ印刷（矢切サポートセンター）（講座3日目分）
1. 31	養成講座3日目開催
2. 02	講義レジメ印刷（サポートセンター）（講座4日目分）
2. 03	講義レジメ印刷（サポートセンター）（講座4日目分）
2. 07	養成講座4日目開催、45名全員修了証書授与

#### 4. 事業の成果について

##### (1) 事業目的の達成について

成年後見制度の普及・啓発活動の中心的役割を担える人材の育成を目指し①4日間の養成講座、②それにふさわしい講義内容の講座開設を目標にしました。

①募集定員を上回る参加申し込みがありました。

募集定員50名（当初予定40名を50名に増員）の市民後見人養成講座の開催を計画しましたが、募集定員を上回る53名の申し込みを得ることが出来ました。これは募集チラシの配布、広報誌等への掲載、会員からの声掛け等を幅広く、且つきめ細かく勧誘を行った結果と考えています。インフルエンザ等により直前のキャンセルもあり、最終的に講座に参加できた方は45名でした。

②計画通りの日程及び内容で実施できました。

松戸商工会議所にて27年1月～2月の週末、4日間の日程で計画し準備しましたが、予定通り実施できました。

講座内容は i・成年後見制度の法制化スタートの経緯と成年後見制度の法律の仕組みの理解 ii・被後見人、被保佐人等となりうる高齢者、認知症、障がい者の方についての正確な知識と理解 iii・行政等における取組方針と実情の理解 iv市民が市民を支える社会、市民後見人の活動と実際の理解 を念頭にカリキュラムを作成し、それにふさわしい講師陣を揃えることに努めました。その結果、講師の方のご協力を得て予定通りのカリキュラムを編成することができました。

③受講生の方の今後の活躍が期待できます。

講義を聞かれた参加者の方からは「大変勉強になりました。」「機会があれば今後さらに勉強したい。」とのお話をいただきました。アンケートでも殆どの方が弊会で今後開催を予定している「レベルアップ研修会」への参加を希望しています。何れの方も勉学意欲が高く、社会貢献活動に関心が高いので今後、さらに研修を積み、成年後見制度に係る活動において各

所でリーダー的役割を発揮していただけるものと期待できます。従ってこの講座で目標としました「成年後見制度の普及・啓発」、「市民後見人として中心的役割を担える人材の育成」への第一歩は、確実に大きく前進できたものと思っています。

## (2) 事業課題の解決について

### ①多様な方の参加が得られました。

松戸市在住の方43名、在勤等関係者2名計45名の方が参加され全員講座を修了いたしました。参加者の顔触れは市内各地にお住いで、年代は60代の方が中心ですが40代以下から70代以上（一部には80代の方）まで、幅広く参加されました。また i・介護業務に携わる方、ii・親族に障がい者を抱える方、iii・民生委員をされている方、iv・自分の老後を考えての方、v・社会貢献活動を行うためにとの方等 多様な経験・考えを持った方が参加されました。

### ②地域の関連団体との連携ができました。

受講生の募集にあたり、地元の認定NPO法人たすけあいの会 ふれあいネットまつどの役員の方に募集チラシを送付いただきご協力をいただきました。

また松戸市社会福祉協議会からは「自立支援事業」について、松戸警察署からは「高齢者と消費者被害」について講師の派遣をしていただきました。

事業の実施において地元関連団体の連携・協力は大切なことと考えています。

### ③松戸市役所関係部署のスタッフの方に感謝しています。

募集チラシを幅広く配布できたこと、時宜を得た広報誌への掲載、ご多忙のなか養成講座へ講師を派遣いただく等ご支援をいただいたことは大変大きな力になりました。

事業実施において「行政・公的機関との連携」は弊会の理念になっています。

## 5 今後の事業展開

成年後見制度の普及・啓発は単年度終了する性格のものでなく次年度以降も必要な活動と認識しております。

次年度も市民後見人養成講座の開催による良質の人材確保に加え、講習会、無料相談会の開催を計画し制度の普及・啓発を図っていきます。また、具体的にお困りの方の相談にのり、支えを必要としている方に寄り添い、一人でも多くの方を支えていきたいと考えています。一方でこうした活動が円滑にできるか否かは、支える側、支えられる側の間に信頼関係ができるかどうか極めて重要な要素になります。弊会では支える側の倫理強化を図ると共に、ひとつひとつの事業を確実に実施し、積み上げていく所存です。そのためには松戸市をはじめとする行政・公的機関からの支援は欠かせない力になりますので引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。

以上



## 収支決算書

### 【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	当会拠出金	¥ 60,000	¥ 34,674		
	自己資金合計額 (a①)	¥ 60,000	¥ 34,674	¥▲25,326	/
	講座参加料	¥ 250,000	¥ 225,000	¥▲25,000	
	事業費収入額 (a②)	¥ 250,000	¥ 225,000	¥ 25,000	
	当会拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 10,000	¥ 21,745		
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②) + a③	¥ 320,000	¥ 281,419	¥ 38,581	/
	市 松戸市助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 84,400	¥ 15,600	←精算額
<b>合計額 (C) = (A+B)</b>		<b>¥ 420,000</b>	<b>¥ 365,819</b>	<b>¥ 54,181</b>	/

### 【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 200,000	¥ 170,000	¥ 30,000	外部講師謝礼
	印刷製本費	¥ 20,000	¥ 21,800	¥ ▲1,800	チラシ・レジメ印刷
	消耗品費	¥ 40,000	¥ 17,966	¥ 22,034	同・印刷用紙
	教材費	¥ 75,000	¥ 55,720	¥ 19,280	受講生教材
	使用料	¥ 70,000	¥ 70,880	¥ ▲880	講座会議室他
	郵送料	¥ 5,000	¥ 7,708	¥ ▲2,708	チラシDM
	対象経費の合計(D)	¥ 410,000	¥ 344,074	¥ 65,926	/
(その他経費)	報償費	¥ 10,000	¥ 15,000	¥ ▲5,000	
	食糧費	¥ 0	¥ 4,905		
	交通費	¥ 0	¥ 1,840		
	その他経費の合計額 (E) = (a③)	¥ 10,000	¥ 21,745	¥▲11,745	/
<b>合計額 (F) = (D+E)</b>		<b>¥ 420,000</b>	<b>¥ 365,819</b>	<b>¥ 54,181</b>	/

#### 【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D) - 事業費収入額(a②) - 市民活動助成金(B)」と同額となること。
- 4 助成金(B)が、1事業あたり10万円以内であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

**精算額**

**¥ 15,600**

団体名 認定NPO法人東葛市民後見人の会  
 代表者氏名 理事長 星野 征朗

## 収支内訳書

## 【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	当会拠出金	¥ 34,674		
	講座参加料	¥ 225,000	¥5,000×45名	講座参加者45名
	当会拠出金 (対象外経費)	¥ 21,745		
市	松戸市助成金	¥ 84,400		
合計額		¥ 365,819		

## 【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の 交付対象経費	1 報償費	¥ 170,000	養成講座講師謝礼	外部講師7名分詳細別紙
	2 印刷製本費	¥ 21,800	受講生募集チラシ 講義レジメ印刷費	募集チラシ2,000枚他
	3 消耗品費	¥ 17,966	チラシ用紙、レジ メ用紙、終了証書 用紙他	レジメ用紙9,000枚 封筒200部、終了証書50部 他
	4 教材費	¥ 55,720	「支援者のための 成年活用講座」を 使用	1,080円×49名
	5 使用料(会場費)	¥ 70,880	松戸商工会議所、 サポートセンター	講座実施会場費及び講習会レ ジメとりまとめ作業に使用
	6 郵送料	¥ 7,708	DM募集チラシ 94先	
	対象経費の合計		¥ 344,074	
その他経費	食糧費	¥ 4,905	講師昼食代及び 飲み物	
	報償費	¥ 15,000	内部講師謝礼	
	交通費	¥ 1,840	報告者交通費	
	その他経費の合計		¥ 21,745	
合計額		¥ 365,819		

# 活動状況報告書

1 事業名称 外国人の子どもと日本人の子どもが触れ合う集い事業

2 実施主体

■ 団体名： 認定NPO法人 外国人の子どものための勉強会

3 事業の実施内容

I 外国人の子どもと日本人の子どもが触れ合う集いの実施

日付	作業内容
4月10日	第1回のチラシの印刷
4月10日～	チラシのPR活動 小学校・放課後児童クラブ・市施設等
4月15日	ファシリテーターとの打ち合わせ
4月26日	東京新聞記事依頼
5月10日	第1回外国人の子どもと日本人の子どもが触れ合う集い 稔台市民センター・ファシリテーター：庄嶋孝広氏・参加者44名
7月1日	市の広報掲載依頼（8月1日号）
7月18日	第2回のチラシの印刷
7月18日～	チラシのPR活動 小学校・放課後児童クラブ・市施設等
9月6日	第2回外国人の子どもと日本人の子どもが触れ合う集い 常盤平市民センター・ファシリテーター：庄嶋孝広氏・参加者50名
10月1日	第3回のチラシの印刷
10月1日～	チラシのPR活動 小学校・放課後児童クラブ・市施設等
11月1日	市の広報掲載依頼（12月1日号）
12月6日	第3回外国人の子どもと日本人の子どもが触れ合う集い 青少年会館・ファシリテーター：庄嶋孝広氏・参加者14名

#### 4 事業成果について

##### (1) 事業目的の達成について

日本人、外国人の子どもと一緒に「世界にはいろいろ異なった文化」があることを考える場（3回の集い）を通し、お互いを理解し友だちになるという目的はかなり達成できました。

集いの参加者は3回行うことで計120名を目標にしました。

1回目（松戸地域）は44名、2回目（常盤平地域）は50名、3回目（新松戸地域）は14名の合計108名で目標の90%でした。

##### (2) 事業課題の解決について

地域の学校に外国にルーツをもつ子どもが増えている現在、学校の外に、外国人の子どもと日本人の子どもが触れ合う場（集い）を作り、双方が一緒になって外国の文化の違いを考えることは、互いを理解し友だちになる機会を作れたと思います。

#### 5 今後の事業展開

外国人の子どもと日本人の子どもが地域のイベントを通して出会い、友だちになっていく場を提供し続けていきます。

そして在住する外国人の子どもや家族の状況を広く地域住民に知っていただくことも重要と考え、今後は「外国人の子どもにはどんな支援が必要か」を地域の皆さんと一緒に考える場（講座）を作っていきます。

## 収支決算書

### 【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	外国人の子どものための勉強会拠出金	¥ 20,000	¥ 11,949	¥▲8,051	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 20,000	¥ 11,949	¥▲8,051	/
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	団体拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 7,500	¥ 7,455	¥▲45	
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②) + a③	¥ 27,500	¥ 19,404	¥ 8,096	/
市	松戸市助成金 (B)	¥ 100,000	¥100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 127,500	¥119,404	¥ 8,096	/

### 【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	備考
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 90,000	¥ 90,000	¥ 0	外部講師謝礼
	印刷製本費	¥ 6,000	¥ 600	¥ 5,400	チラシ・資料印刷
	消耗品費	¥ 9,000	¥ 15,019	¥▲6,019	印刷インク・文具
	使用料	¥ 5,400	¥ 3,060	¥ 2,340	会場使用料
	賃借料		¥ 750	¥ ▲750	音響設備
	郵送料	¥ 9,600		¥ 9,600	郵便料
	保険料		¥ 2,520	¥▲2,520	ボランティア行事保険料
	対象経費の合計 (D)	¥ 120,000	¥111,949	¥ 8,051	/
(その他経費)	食糧費	¥ 7,500	¥ 7,455	¥ 45	
	その他経費の合計額 (E) = (a③)	¥ 7,500	¥ 7,455	¥ 45	/
合計額 (F) = (D+E)		¥ 127,500	¥119,404	¥ 8,096	/

#### 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) - 事業費収入額 (a②) - 市民活動助成金 (B)」と同額となること。
- 4 助成金 (B) が、1事業あたり10万円以内であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額

¥

-

認定NPO法人

外国人の子どものための勉強会  
理事長 海老名みさ子

## 収支内訳書

## 【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	外国人の子どものための勉強会拠出金	¥ 11,949		
	外国人の子どものための勉強会拠出金 (対象外経費)	¥ 7,455		
	自己資金合計額	¥ 19,404		
市	松戸市助成金	¥ 100,000		
合 計 額		¥ 119,404		

## 【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項 (用途など)
助成金の 交付対象経費	1 報償費	¥ 90,000	30,000円*3回	講師 (ファシリテーター) 謝礼 講師名 庄嶋孝広氏 30,000円*3回
	2 印刷製本費	¥ 600	6版*100円	チラシ・資料の印刷代 集い実施分 2,100部配布
	3 消耗品費	¥ 15,019	1,975円*4個 2,160円*1個 97円*1 4,862円*1	チラシ・資料印刷インク*5個 ビニール袋*1 マッキー・マジック・マーカー*1
	4 使用料	¥ 3,060	700円*3時間 320円*3時間	会場使用料 稔台市民センター第1会議室 常盤平市民センター第1介護室
	5 賃借料	¥ 750	210円*1本 540円*1台	音響器材使用料 受信機1台 マイク1本
	6 郵送料			
	7 保険料	¥ 2,520	28円*90人	ボランティア行事保険 株式会社福祉保険サービス 加入期間5月10日/9月6日/12月6日
対象経費の合計		¥ 111,949		
その 他 経 費	食糧費	¥ 7,455	7,455円	飲み物 1,692円 菓子・紙コップ・紙皿 5,763円
	その他経費の合計	¥ 7,455		
合 計 額		¥ 119,404		

# 活動状況報告書

## 1 事業名称

伝えたい大震災の記憶・学びたい大震災の体験の講演会等イベント事業

## 2 実施主体

■ 団 体 名：東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト

## 3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

伝えたい大震災の記憶・学びたい大震災の体験の講演会等イベント事業

日 付	作 業 内 容
4 月	講師の選定と決定
5 月	事業企画の打ち合わせ 講師と打ち合わせ開始
6 月	アンケートの作成・印刷 コープみらいとワークショップ打ち合わせ開始 栗ヶ沢中学校地域防災委員会と打ち合わせ開始 講師と打ち合わせ
7 月	女性センター公用申請 広報まつど・ユウカリひろばに掲載依頼 チラシ企画 講師と打ち合わせ 被災3県行政へ参加依頼 避難者にパネルディスカッション参加依頼
8 月 1 日	8 月号サロンニュースで告知 松戸市後援依頼申請 参加者募集開始
8 月 1 日～31 日	チラシの郵送 コープみらいとワークショップ打ち合わせ 講師と打ち合わせ イベント諸準備 アンケートの集計・印刷
9 月 1 日	当日のアンケート作成・印刷
9 月 7 日	イベント当日 参加者 71 名 ゆうまつどホール
9 月 15 日～30 日	当日アンケートの集計・自由記載の中に次年度事業の参考になる情報があった
10 月	関係者へ御礼と報告・写真の送付等

#### 4 事業成果について

##### (1) 事業目的の達成について

1. 避難者が震災の体験を語ることにより、松戸市民の中に溶け込む一歩となった。サロンでは避難者と市民の区別が分からないと講師から話があった。
2. 松戸市民・団体は、体験を学んだことがきっかけで、防災のことを口にするようになった。
3. イベントでグループワークを実施したことにより、知人が増えた。思わぬ出会いもあったようである。
4. 大震災が忘れられないよう、繰り返し発信を続けることの大切さを実感。
5. このイベントに参加者71名。
6. 他の活動団体・大学との連携ができたこと。

##### (2) 事業課題の解決について

1. 避難者は、自主的に参加したことにより自ら積極的に市民の中に溶け込む姿が見える。
2. 避難者はサロンスタッフとして積極的に日々の活動に参加している。
3. 他の団体から、避難者に講演依頼が来た。
4. 市民も防災に関心を持つようになった。
5. 大震災が忘れられないよう、繰り返し発信を続けたこと。

#### 5 今後の事業展開

1. 27年度 part 2 にチャレンジできること。
2. 減災について、学ぶきっかけとなった。
3. 東葛地区から千葉県下に活動を広げたい。
4. 大学生に力を貸してもらおう事案の実現。
5. 27年度サロン運営の見直しの原点となった。  
カルチャー的なイベントが多かったが、学びの場作りを盛り込む
6. 避難者自身が、自主企画事業を開催する力を付けた。
7. 松戸市内の市民活動団体との交流が、さらに進む。



## 収支決算書

### 【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	松戸・東北交流プロジェクト拠出金	¥ 36,300	¥ 48,473	¥ 12,173	
	寄付金	¥ 0		¥ 0	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 36,300	¥ 48,473	¥ 12,173	
	講座参加料			¥ 0	
				¥ 0	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	同上団体拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 0	¥ 16,813		
自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①) + a② + a③	¥ 36,300	¥ 65,286	¥ ▲28,986		
市	松戸市助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A+B)		¥ 136,300	¥ 165,286	¥ ▲28,986	

### 【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
助成金の交付対象経費	1 報償費	¥ 50,000	¥ 50,000	¥ 0	講師謝礼
	2. 印刷製本費	¥ 34,000	¥ 65,702	¥ ▲31,702	チラシ・アンケート印刷
	3. 消耗品費	¥ 10,000	¥ 12,173	¥ ▲2,173	イベント材料費
	4. 使用料	¥ 6,300	¥ 0	¥ 6,300	
	5. 賃借料	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ 0	プロジェクター賃借
	6. 通信費	¥ 16,000	¥ 10,598	¥ 5,402	講師資料送付他
	7. 保険料	¥ 10,000	¥ 0	¥ 10,000	
		対象経費の合計 (D)	¥ 136,300	¥ 148,473	¥ ▲12,173
(その他経費)	食糧費	¥ 0	¥ 7,006	¥ ▲7,006	
	謝金		¥ 6,000	¥ ▲6,000	講師(避難者)3名
	雑費	¥ 0	¥ 3,807	¥ ▲3,807	事業掲載紙購入等
	その他経費の合計額 (E) = (a③)	¥ 0	¥ 16,813	¥ ▲16,813	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 136,300	¥ 165,286	¥ ▲28,986	

#### 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) - 事業費収入額 (a②) - 市民活動助成金 (B)」と同額となること。
- 4 助成金 (B) が、1事業あたり10万円以内であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額

¥

団体名 東日本大震災復興支援松戸東北交流プロジェクト  
代表者氏名 代表 古宮保子

## 収支内訳書

## 【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクト 拠出金	¥ 48,473		
	寄付金			
	講座参加料			
	同上団体拠出金 (対象外経費)	¥ 16,813		
市	松戸市助成金	¥ 100,000		
合 計 額		¥ 165,286		

## 【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項 (用途など)
助成金の 交付対象経費	1 報償費	¥ 50,000	50000円*1回	講師謝礼 講師名櫻井広行氏 50,000円×1回
	2 印刷製本費	¥ 65,702		アンケート印刷 講演会チラシ
	3 消耗品費	¥ 12,173		事業用消耗品 パネル 模造紙 20枚
	4 使用料	¥ 0		
	5 賃借料	¥ 10,000		
	6 通信費	¥ 10,598		
	7 保険料	¥ 0		
	対象経費の合計		¥ 148,473	
その 他経費	食糧費	¥ 7,006	15人	スタッフ昼食代
	謝金	¥ 6,000	3人	避難者(講師)梅田他2名
	雑費	¥ 3,807		事業掲載新聞・郵送代・消耗品・ 備品
	その他経費の合計		¥ 16,813	
合 計 額		¥ 165,286		

# 活動状況報告書

1 事業名称 けん玉で遊ぼう事業

2 実施主体

■ 団体名： 昔のあそびと遊ぼう会

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

1. 4月けん玉教室実施

日付	作業内容
4月5日	事業企画/講座内容打ち合わせ
4月7日	チラシの作成/印刷
4月8日～18日	チラシのPR活動、講師調整依頼
4月19日	4月けん玉教室開催 講師 川田嘉夫氏 参加者 23名 場所 六実市民センター

2. 5月けん玉教室実施

日付	作業内容
5月3日	講座内容打ち合わせ
5月7日	チラシの作成/印刷
5月8日～16日	PR活動
5月17日	5月けん玉教室開催 講師 矢野・寺本氏 参加者 19名 場所 六実市民センター

3. 6月けん玉教室実施

日付	作業内容
6月5日	講座内容打ち合わせ
6月6日	チラシの作成/印刷
6月7日～20日	PR活動
6月21日	6月けん玉教室開催 講師 川田嘉夫氏 参加者 34名 場所 六実市民センター

#### 4. 7月けん玉教室実施

日 付	作 業 内 容
7月3日	講座内容打ち合わせ
7月11日	チラシの作成/印刷
7月14日～18日	PR活動、行事保険加入手続き
7月19日	7月けん玉教室開催 講師 矢野・白石氏 参加者 20名 場所 六実市民センター

#### 5. 8月けん玉教室・けん玉大会実施

日 付	作 業 内 容
7月30日	講座内容打ち合わせ
8月1日	チラシの作成/印刷(8月～11月迄)
8月4日～15日	PR活動、行事保険加入手続き(8月～11月分)
8月16日	8月けん玉教室・けん玉大会開催 「けん玉大会」:初級者、中級者、上級者で各々の争う技の内容を決めて、出来た回数で順位を決める。 講師 川田嘉夫氏・白石氏 参加者 28名 場所 六実市民センター

#### 6. 9月けん玉教室実施

日 付	作 業 内 容
9月6日	講座内容打ち合わせ・六実っ子まつり・けん玉打合せ
9月8日～19日	PR活動
9月20日	9月けん玉教室開催 講師 矢野・白石氏 参加者 24名 場所 六実市民センター

#### 7. 10月けん玉教室実施

日 付	作 業 内 容
10月3日	講座内容打ち合わせ
10月4日～17日	PR活動
10月18日	10月けん玉教室開催 講師 川田嘉夫氏、白石氏、黒田氏 参加者 40名 場所 六実市民センター

#### 8. 11月けん玉教室実施

日 付	作 業 内 容
10月30日	講座内容打ち合わせ
10月31日	チラシの作成/印刷(11月～3月迄)
11月1日～14日	PR活動、行事保険加入手続き(11月～3月分)

11月15日	8月けん玉教室開催 講師 矢野氏・白石氏・黒田氏 参加者 45名 場所 六実市民センター
--------	---

#### 9. 12月けん玉教室実施

日付	作業内容
12月4日	講座内容打ち合わせ
12月6日～19日	PR活動
12月20日	12月けん玉教室開催 講師 矢野氏、白石氏、黒田氏 参加者 25名 場所 六実市民センター

#### 10. 1月けん玉教室実施

日付	作業内容
1月4日	講座内容打ち合わせ
1月6日～16日	PR活動
1月17日	1月けん玉教室開催 講師 矢野氏、白石氏、黒田氏 参加者 49名 場所 六実市民センター

#### 11. 2月けん玉教室実施

日付	作業内容
2月7日	講座内容打ち合わせ
2月9日～20日	PR活動(六実第2小学校の昔あそび時にPR)
2月21日	2月けん玉教室開催 講師 矢野氏、白石氏、黒田氏 参加者 52名 場所 六実市民センター

#### 12. 3月けん玉教室・技発表会実施

日付	作業内容
3月7日	講座内容打ち合わせ
3月9日～20日	PR活動(六実小学校のけん玉授業を通してPR)
3月21日	3月けん玉教室・技発表会開催 技発表会；個々に自慢の技をI種類披露する形式 講師 矢野氏、白石氏、黒田氏 参加者 53名 場所 六実市民センター

#### 4 事業成果について

##### (1) 事業目的の達成について

- ・けん玉初段取得者2名（けん玉指導員）合格し初段未満の方の指導に従事できるようになりました。
- ・けん玉講習会参加者は、平成26年4月～平成27年3月迄で384名（月平均32名（計画20名））の方々が参加。
- ・けん玉を通して、六実地域だけでなく、市内各地域や他地域との交流、世代間交流ができました。  
（市内地域：六実、六高台、五香、稔台、常盤平、上本郷、新松戸、紙敷、東松戸、上本郷、古ヶ崎、小金、西馬橋等、  
市外地域：鎌ヶ谷、柏、船橋、我孫子、市川、印西、木更津、千葉、三郷、江戸川区、三鷹、八王子等）

##### (2) 事業課題の解決について

- ・参加することにより、親子で一緒に楽しいひと時が持つことが出来ていると実感しています。また有段者（4段1名、3段1名、2段1名、初段2名）も多数出るようになり、教室の開催目的である「子供の達成感」、「家族のコミュニケーション作り」に役立っているものと思います。  
教室参加者も徐々に多くなり、10月以降40人を超える方々が参加されるようになり、益々活気を帯びてまいりました。

#### 5 今後の事業展開

- ・継続して開催出来るようにしていく。その為には、講師の準備と開催場所の確保が必要ですので、今後も場所については市民センターの使用を依頼していきます。又講師については、日本けん玉協会の方が継続指導できるようにをお願いしていきます。
- ・他地域との交流や世代間交流ができ、けん玉協会の大会への参加等を行うことにより 参加者の技術向上、モチベーションアップを図れるようにPRして行く予定です。

## 収支決算書

### 【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	団体拠出金	¥ 7,720	¥ 12,442	¥ 4,722	
	寄付金			¥ 0	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 7,720	¥ 12,442	¥ 4,722	
	教室参加料	¥ 12,000	¥ 0	¥▲12,000	
	事業費収入額 (a②)	¥ 12,000	¥ 0	¥ 12,000	
	団体拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 34,400	¥ 34,400	¥ 0	
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a① + a②) + a③	¥ 54,120	¥ 46,842	¥ 7,278	
市	松戸市助成金 (B)	¥ 54,000	¥ 54,000	¥ 0	←精算額
<b>合計額 (C) = (A + B)</b>		<b>¥ 108,120</b>	<b>¥100,842</b>	<b>¥ 7,278</b>	

### 【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
助成金の交付対象経費	委託料	¥ 40,000	¥ 40,000	¥ 0	外部講師謝礼
	印刷製本費	¥ 27,000	¥ 19,862	¥ 7,138	ポスター、チラシ印刷
	保険料	¥ 6,720	¥ 6,580	¥ 140	行事保険料
		対象経費の合計(D)	¥ 73,720	¥ 66,442	¥ 7,278
(その他対象外経費)	団体食糧費	¥ 14,400	¥ 14,400	¥ 0	お茶代
	受講料	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ 0	講師受講料
		¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	その他経費の合計額(E) = (a③)	¥ 34,400	¥ 34,400	¥ 0	
<b>合計額 (F) = (D + E)</b>		<b>¥ 108,120</b>	<b>¥100,842</b>	<b>¥ 7,278</b>	

#### 【チェック項目】

- 1 助成金(B)が、対象となる経費(D)欄の90%以内であること。
- 2 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D)欄の10%以上」であること。
- 3 自己資金(a①)欄が、「対象経費(D) - 事業費収入額(a②) - 市民活動助成金(B)」と同額となること。
- 4 助成金(B)が、1事業あたり10万円以内であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

**精算額**

¥

団体名 昔のあそびと遊ぼう会  
代表者氏名 会長 白石 彌登美

## 収支内訳書

## 【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	団体拠出金	¥ 12,442	会費より	団体内会費より拠出
	寄付金	¥ 0		
	教室参加料	¥ 0		
	団体拠出金 (対象外経費)	¥ 34,400	会費+寄付金	会費、団体の寄付金より
市	松戸市助成金	¥ 54,000		
合 計 額		¥ 100,842		

## 【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項 (用途など)
助成金の交付対象経費	1 委託料	¥ 40,000	10,000円*4回	講師謝礼 講師名 川田氏 10,000円*4回
	2 印刷製本費	¥ 19,862	ポスター 16,200円 表彰状費3,662円	ポスター 3枚 15,000円 内消費税 1,200円 表彰状作成費 3,662円
	3 保険料	¥ 6,580	6,580	行事保険 235人*28円/人=6,580円 保険会社 日本興亜損害保険(株) 加入期間 7月19日, 8月16日, 9月20日, 10月18日, 11月15日, 12月20日, 1月17日, 2月21日, 3月21日
	対象経費の合計	¥ 66,442		
	その他経費			
団体食糧費	¥ 14,400	120個	お茶 120円*120個=14,400円	
指導ライセンス受講料	¥ 20,000	4回	5000円*4回=20,000円	
その他経費の合計	¥ 34,400			
合 計 額		¥ 100,842		



# 活動状況報告書

1 事業名称 日帰り滞在型観光 「“葵の里” 観光ガイド (チラシ) の作成」事業

2 実施主体

■ 団体名: まつど学びの旅推進協議会

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

(例) I 推進協議会での検討会の実施

日付	作業内容
5月14日	事業企画打ち合わせ
7月23日	散策マップの企画及び構成案の検討
9月5日	散策マップの原稿作成、写真の収集
10月8日	散策マップ原稿の最終チェック・印刷依頼
11月14日	散策マップ(ドラフト)の完成
1月9日	発表会用チラシの作成(印刷)
1月21日	発表会チラシの配布依頼(市民自治課と文化観光課)

II 発表会の実施

日付	作業内容
1月21日	発表会の事前準備
2月15日	市広報に発表会を掲載
2月19日	発表会のプログラム手順打合せ
3月6日	発表会の開催(勤労会館3階ホール) 講師:福留 強先生と特別発表「万作踊り松戸保存会」の方、参加者60人

4 事業成果について

(1) 事業目的の達成について

- ・紙面と予算の関係で、今回作成した「葵の里、まつど散策マップ」(日帰り滞在型)は、我々が今まで実施した「学びの旅ウォーク」の中から独自に散策出来るものを厳選して作成して、当初の目的を達成した。
- ・今回は戸定が丘・松戸宿エリア(2コース分)と矢切エリアのコースの作成に留まりましたが、残りのエリアについては、別の機会にチャレンジする予定です。

## (2) 事業課題の解決について

- ① 松戸市内の名所・史跡に新たな観光スポットを紹介する
- ② 市内に点在している観光スポットを結ぶ新たな散策ルートを掲載する
- ③ 散策ルートに案内写真や説明文を付け、更にトイレの場所を明記した我々独自の散策マップを作成した。

以上、従来からの散策マップに関する課題解決と利用者のニーズに応じて散策マップを作成しました。

## 5 今後の事業展開

私たちの「観光による松戸の活性化」の活動は、この日帰り滞在型観光「“葵の里” まつど散策マップの作成」事業がスタート起点です。

今回の事業で作成された「“葵の里” まつど散策マップ」は、限られた地域（2地区）しかカバーされていません。

今後、松戸市内全域を網羅する必要があると思っています。

同時に、今回の散策マップをレベルアップして食事処、お土産、特産品等々を買い求められる情報も掲載して、利用者の利便性を図る必要があると思っています。

以上、散策マップのエリア拡大と情報のレベルアップを実施致したい。

## 収支決算書

### 【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	団体拠出金	¥ 37,800	¥ 24,609	¥ ▲13,191	
	寄付金	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 37,800	¥ 24,609	¥ ▲13,191	
	講座参加料	¥ 15,000	¥ 0	¥ ▲15,000	
				¥ 0	
	事業費収入額 (a②)	¥ 15,000	¥ 0	¥ 15,000	
	団体拠出金(対象外経費) (a③)	¥ 10,000	¥ 30,260		
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 62,800	¥ 54,869	¥ 7,931	
市	松戸市助成金 (B)	¥ 90,000	¥ 90,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 152,800	¥ 144,869	¥ 7,931	

### 【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 20,000	¥ 10,000	¥ 10,000	外部講師謝礼
	印刷製本費	¥ 90,000	¥ 97,430	¥ ▲7,430	チラシ印刷
	消耗品費	¥ 5,000	¥ 7,179	¥ ▲2,179	インク代
	使用料	¥ 8,000	¥ 0	¥ 8,000	
	賃借料	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	通信費	¥ 4,800	¥ 0	¥ 4,800	
	保険料	¥ 15,000	¥ 0	¥ 15,000	
		対象経費の合計 (D)	¥ 142,800	¥ 114,609	¥ 28,191
(その他経費)	交通費	¥ 10,000	¥ 14,500	¥ ▲4,500	
	ホームページ掲載料	¥ 0	¥ 12,960	¥ ▲12,960	
	使用料	¥ 0	¥ 2,800	¥ ▲2,800	会場使用料
		その他経費の合計額 (E) = (a③)	¥ 10,000	¥ 30,260	¥ ▲20,260
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 152,800	¥ 144,869	¥ 7,931	

#### 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) - 事業費収入額 (a②) - 市民活動助成金 (B)」と同額となること。
- 4 助成金 (B) が、1事業あたり10万円以内であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額

¥

-

団体名 まつど学びの旅推進協議会  
代表者氏名 会長 金子雄二

## 収支内訳書

## 【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	団体拠出金	¥ 24,609		
	寄付金	¥ 0		
	講座参加料	¥ 0		
	団体拠出金 (対象外経費分)	¥ 30,260		
市	松戸市助成金	¥ 90,000		
合計額		¥ 144,869		

## 【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の 交付対象 経費	1 報償費	¥ 10,000	5,000円*2回	講師謝礼 講師名：福留強氏、万作踊り保存会 5,000円*2回
	2 印刷製本費	¥ 97,430	3,000部* 31.8円	散策マップのデザイン、校正、印刷 代、コピー代
	3 消耗品費	¥ 7,179		PCインク代
	4 使用料	¥ 0		
	5 賃借料	¥ 0		
	6 通信費	¥ 0		郵送料
	7 保険料	¥ 0		
	対象経費の合計		¥ 114,609	
その他 経費	交通費	¥ 14,500	500円*29人	
	ホームページ掲載料	¥ 12,960	ホームページ 改修(一式)	
	使用料	¥ 2,800	800円*3時間	会場使用料 勤労会館 3階ホール
	その他経費の合計		¥ 30,260	
合計額		¥ 144,869		

## 活動状況報告書

1 事業名称 「知っておくと安心！食品の安全な取り扱い手帳」の作成事業

2 実施主体

■ 団体名： 食の安全安心を考える市民の会

3 事業の実施内容

※ 実施内容について、事業毎に記載してください。

冊子完成までの工程

日 付	作 業 内 容
4月18日	・総会ならびに第1回事業打ち合わせ
5月9日～30日	・作成済の資料の加除作業 32ページに収める
6月13日	・松田研究室にて加除作業の中間報告会
9月17日	・イラストレーターを紹介を受ける
9月22日	・表紙のデザインを決める
10月4～5日 10月19日～ 12月20日	・消費生活展に参加 手帳の広報活動も行う ・審査員から指摘のあった難しい内容を、イラストに作り替える作業 5回
12月	・NPO法人子どもっとまつど主催の「つくってみよう！私のお弁当」事業（全4回10月～12月）に講師として2人参加 ・印刷に向けての打ち合わせ
1月	・冊子のデザインチェック イラストのチェック ・メンバーにメールまたはFAX・郵送で送る。
2月	・現在12ページ迄完了 ・容量が重く、またカラー印刷のためFAX不可能。郵送のやり取りを利用する。先生にもチェックを依頼。24日印刷発注
3月6日 3月7日 3月10日 3月24日	・印刷完了手帳納品 ・市民活動見本市にてお披露目 20冊を限度に配布 ・「作ってみよう！私のお弁当」事業（NPO法人子どもっとまつど主催）の参加者に配布 ・松戸市民対象冊子完成報告会 18名参加 ゆうまつどで実施

#### 4 事業成果について

##### (1) 事業目的の達成について

※計画時に設定した事業目的が、どの程度達成されたのかを記載してください。

1. 冊子の完成は、市民活動見本市に間に合わせた。
2. 「消費者の目線に立ったやさしい食品の取り扱い手帳を発行したい」は、達成された。
3. 当初のイラストレーターにお願いできなくなり、出会うまで時間がかかった。着手が遅れた。結果的には良い出会いがありメンバーは満足している。

##### (2) 事業課題の解決について

※計画時に設定した事業課題が、どの程度解決できたのかを記載してください。

1. 組織の活動が鈍かったが、この事業を機にメンバーが協力できた。
2. 良いイラストレーターとの出会いがあり、市民に手に取ってもらえると自負している。
3. メンバーで達成感をかみしめている理由。  
全ページカラー印刷が実現できたこと  
難しい学問的な文章を、子育て中の若い世代にも手に取ってもらえるよう、イラストを多く文章も極力そぎ落とす。  
A5版 32ページ
4. 報告会で、若いお母さん方と高齢の男性に手渡すことができた。

#### 5 今後の事業展開

※この事業について、今後どのように展開したいのかを記載してください。

次年度に向けて

- ★講演会・料理講座の開催
- ★冊子を市民に手渡すこと

2つの目的のために

- ★この事業の希望である、日和佐先生の講演もすでにお願ひした。
- ★料理研究者にも次年度の講座をお願ひした。
- ★消費生活展で、流経大のゼミが期限表示について出展していた。学生とも交流ができた。  
同じく出展していたコープみらいとの付き合いも始まった。
- ★審査員からアドバイスをいただいた、企業にもお付き合いの道筋をつけた。冊子を手に訪問したい。

## 収支決算書

### 【事業費収入額(収入)】

区分	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
団体	食の安全安心を考える市民の会拠出金	¥ 15,230	¥ 28,437	¥ 13,207	
	寄付金	¥ 0		¥ 0	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 15,230	¥ 28,437	¥ 13,207	/
	講座参加料			¥ 0	
				¥ 0	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	〇〇団体拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 0	¥ 7,585		
自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②) + a③	¥ 15,230	¥ 36,022	¥ ▲20,792	/	
市	松戸市助成金 (B)	¥ 100,000	¥100,000	¥ 0	←精算額
合計額 (C) = (A + B)		¥ 115,230	¥136,022	¥ ▲20,792	/

### 【事業費の支出額(支出)】

	科 目	予算額	決算額	差引額	備 考
助成金の交付対象経費	1. 報償費	¥ 50,000	¥ 50,000	¥ 0	イラストレーター
	2. 印刷製本費	¥ 60,000	¥ 71,331	¥ ▲11,331	手帖作成・チラシ印刷
	3. 消耗品費	¥ 0	¥ 1,594	¥ ▲1,594	チラシ用紙
	4. 使用料	¥ 630	¥ 0	¥ 630	会場使用料
	5. 賃借料	¥ 0	¥ 0	¥ 0	プロジェクター
	6. 通信費	¥ 1,600	¥ 4,672	¥ ▲3,072	郵便料
	7. 保険料	¥ 3,000	¥ 840	¥ 2,160	行事保険料
		対象経費の合計 (D)	¥ 115,230	¥128,437	¥ ▲13,207
(その他経費)	食糧費	¥ 0	¥ 1,999	¥ ▲1,999	
	雑費		¥ 2,800	¥ ▲2,800	
	備品	¥ 0	¥ 2,786	¥ ▲2,786	
	その他経費の合計額 (E) = (a③)	¥ 0	¥ 7,585	¥ ▲7,585	/
合計額 (F) = (D+E)		¥ 115,230	¥136,022	¥ ▲20,792	/

#### 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) - 事業費収入額 (a②) - 市民活動助成金 (B)」と同額となること。
- 4 助成金 (B) が、1事業あたり10万円以内であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額

¥

-

団体名 食の安全安心を考える市民の会  
代表者氏名 代表 松田 友義

## 収支内訳書

## 【事業費の収入額】

科目		金額	内訳	摘要
団体	食の安全安心を考える市民の会拠出金	¥ 28,437		
	寄付金			
	講座参加料			
	同上団体拠出金 (対象外経費)	¥ 7,585		
市	松戸市助成金	¥ 100,000		
合計額		¥ 136,022		

## 【事業費の支出額】

科目		金額	支出内訳	説明事項(用途など)
助成金の交付対象経費	1 報償費	¥ 50,000	50000円*1回	イラストレーター謝礼 講師名鈴木えつ子氏 50,000円×1回
	2 印刷製本費	¥ 71,331	200部5万円	手帖印刷代 手帖完成報告会チラシ 500部配布
	3 消耗品費	¥ 1,594	コピー用紙	事業用消耗品 チラシ印刷用紙 3,500枚 模造紙 20枚
	4 使用料	¥ 0		
	5 賃借料	¥ 0		
	6 通信費	¥ 4,672	80円×60人	講師とのやり取り
	7 保険料	¥ 840	30人	行事保険 全国社会福祉協議会 加入期間2015年3月24日
	対象経費の合計		¥ 128,437	
その他経費	食糧費	¥ 1,999		
	雑費	¥ 2,800		
	備品	¥ 2,786	2786円*1	USB
	その他経費の合計		¥ 7,585	
合計額		¥ 136,022		



# 活動状況報告書

1 事業名称 働きたい子育て中の主婦のための在宅パソコン講習事業

2 実施主体

■ 団体名：特定非営利活動法人 就労サポート・キャリアプラス

3 事業の実施内容

在宅パソコン講習の実施に伴う作業

日付	作業内容
4月4日	事業企画打ち合わせ
4月7日	チラシの作成、配布依頼 (松戸市ハローワークマザーズハローワーク)
4月27日	第1期受講生募集広告掲載(媒体:クリエイト)
5月16日～	第1期在宅パソコン講習開始(事前説明会実施)
6月14日	集合講習会実施(出席者3名、講師:住吉)
6月21日	集合講習会実施(出席者2名、講師:住吉)
7月1日	広報まつど(第2期在宅パソコン講習受講生募集広告)掲載
7月6日	第2期受講生募集広告掲載(媒体:ユメックス)
7月12日	集合講習会実施(出席者3名、講師:住吉)
7月16日～	第2期在宅パソコン講習開始(事前説明会実施)
7月23日	集合講習会実施(出席者5名、講師:横尾、永縄)
8月6日	集合講習会実施(出席者5名、講師:永縄)
8月23日	集合講習会実施(出席者3名、講師:横尾)
9月5日	集合講習会実施(出席者3名、講師:横尾)
9月11日	集合講習会実施(出席者3名、講師:横尾)
9月15日	広報まつど(第3期受講生募集広告)掲載
9月19日	集合講習会実施(出席者3名、講師:横尾)
9月19日	第3期受講生募集広告掲載(媒体:地域新聞)
9月25日	集合講習会実施(出席者5名、講師:横尾)
10月1日～	第3期在宅パソコン講習開始(事前説明会実施)
10月10日	集合講習会実施(出席者5名、講師:横尾)
10月24日	集合講習会実施(出席者4名、講師:横尾)
11月1日	広報まつど(第4期在宅パソコン講習受講生募集広告)掲載
11月4,5日～	第4期在宅パソコン講習開始(事前説明会実施)
11月9日	第4期受講生募集広告掲載(媒体:ユメックス)
11月6日	集合講習会実施(出席者5名、講師:横尾)

日 付	作 業 内 容
11月15日	集合講習会実施（出席者3名、講師：横尾）
12月5日	集合講習会実施（出席者3名、講師：住吉）
12月12日	集合講習会実施（出席者4名、講師：横尾）
12月20日	集合講習会実施（出席者2名、講師：横尾）
12月22日	集合講習会実施（出席者2名、講師：住吉）
1月10日	集合講習会実施（出席者2名、講師：横尾）
1月16日	集合講習会実施（出席者5名、講師：横尾）
1月22日	集合講習会実施（出席者4名、講師：横尾）
2月7日	集合講習会実施（出席者3名、講師：横尾）
2月13日	集合講習会実施（出席者6名、講師：横尾）
3月14日	集合講習会実施（出席者4名、講師：横尾）
3月19日	集合講習会実施（出席者5名、講師：横尾）
3月24日	集合講習会実施（出席者3名、講師：横尾）

#### 4 事業成果について

##### (1) 事業目的の達成について

当初掲げていた目標は、四半期ごとに受講生の半数以上が、(講師評価で)職場で最低限求められるパソコン操作のレベルに達することでしたが、その点に関しては、この事業でパソコン講習に取り組んだ※全員が目標に達しました。さらに、この事業に取り組んだ受講生の19名中9名が、この事業で事務として再就職を果たすことができ、19名中2名の方が事務ではありませんが、パソコンを使用する仕事に就くことができたとの報告をうけております。  
 ※アクティブな受講生全員(お子さんの都合や転勤、引っ越し等で参加できなかった方を除きます。)19名のうちアクティブな受講生は11名。

##### (2) 事業課題の解決について

子供がいても自宅で家事の空いた時間にパソコンの学習を行うことができるという点に受講生全員が「有難い」と仰っていました。当団体が使用している独自学習システムeラーニングは大変わかりやすいので、全くパソコンができない方でも講師が直接そばにいらなくても、わかる内容になっています。そのため、きちんと学習する方は結果が出ました。さらに、この事業が無料で受講できること、集合講習会では、我流で身につけてしまったパソコン知識に関しても、基礎から学び直したり、便利な機能について知ることができることもメリットであるという声を頂きました。「子育て中に再就職の準備のために何かしたい」という方に子育てしながらパソコンのスキルが身についたことで、課題の解決ができたと思っています。

## 5 今後の事業展開

この事業に参加された大半の方々に対しては、子供を持つ女性の厳しい再就職という課題の解決に貢献できたと思っておりますが、上の部分でも記しましたが、開始後に一度もお見えにならない方も数名おりました。そういった方々に（特別な事情や正当な理由で通えない方もいらっしゃいますが、それ以外の方に対して）個別の対応もしてまいりましたが、結果として講師に無駄足を踏ませてしまったことなどから、次に実施する時には、再就職支援が私共の本来の目的なので、集合講習会などでは、毎回 10～15 分ほどをビジネスマナーに関する内容を実施したり、たとえ子供を抱えて仕事をするとしても責任感をもつことなど、実はそういったことが、パソコンスキル以上に企業が求めている大切な要素である点を理解していただく意味での再就職に必要とされる内容を加えて、事業を再スタートできればと考えております。

# 収支決算書

## 【事業費収入額(収入)】

区分	科目	予算額	決算額	差引額	備考
団体	子育て就労支援事業費	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	
	寄付金(会員より)	¥ 7,200	¥ 6,100	¥▲1,100	
	自己資金合計額 (a①)	¥ 107,200	¥ 106,100	¥▲1,100	
		¥ 0	¥ 0	¥ 0	
				¥ 0	
	事業費収入額 (a②)	¥ 0	¥ 0	¥ 0	
	団体拠出金(対象外経費分) (a③)	¥ 0	¥ 0		
	自己資金、事業費収入合計額 (A) = (a①+a②)+a③	¥ 107,200	¥ 106,100	¥ 1,100	
市	松戸市助成金 (B)	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ 0	←精算額
	合計額 (C) = (A+B)	¥ 207,200	¥ 206,100	¥ 1,100	

## 【事業費の支出額(支出)】

	科目	予算額	決算額	差引額	備考	
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 48,000	¥ 46,000	¥ 2,000	外部講師謝礼	
	広告費	¥ 80,000	¥ 84,400	¥▲4,400	広告会社支払	
	消耗品費	¥ 16,800	¥ 13,300	¥ 3,500	テキスト・資料代	
	使用料	¥ 62,400	¥ 62,400	¥ 0	施設使用料	
		対象経費の合計(D)	¥ 207,200	¥ 206,100	¥ 1,100	
(その他経費)						
	その他経費の合計額 (E) = (a③)	¥ 0	¥ 0	¥ 0		
	合計額 (F) = (D+E)	¥ 207,200	¥ 206,100	¥ 1,100		

### 【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が、対象となる経費 (D) 欄の90%以内であること。
- 2 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) 欄の10%以上」であること。
- 3 自己資金 (a①) 欄が、「対象経費 (D) - 事業費収入額 (a②) - 市民活動助成金 (B)」と同額となること。
- 4 助成金 (B) が、1事業あたり10万円以内であること。
- 5 対象経費については、必ず証拠書類を添付すること。

精算額                      ¥                      -

特定非営利活動法人  
 団体名 就労サポート・キャリアアップ  
 代表者氏名 理事長 小堺 マスエ

## 収支内訳書

## 【事業費の収入額】

科 目		金 額	内 訳	摘 要
団 体	子育て就労支援事業	¥ 100,000		
	寄付金	¥ 6,100		会員より当団体への寄付金
		¥ 0		
	団体拠出金 (対象外経費)	¥ 0		
市	松戸市助成金	¥ 100,000		
合 計 額		¥ 206,100		

## 【事業費の支出額】

科 目		金 額	支出内訳	説明事項（用途など）
助成金の 交付対象 経費	1 報償費	¥ 46,000	2,000円*23回	講師謝礼 永縄講師 2,000円*2回 横尾講師 2,000円*21回
	2 広告費	¥ 84,400	25,000+19,440+ 20,520+19,440	受講者募集チラシの掲載代 クリエイイト、ユメックス、地域新聞
	3 消耗品費	¥ 13,300	10円*60枚*19 100円*19枚	事業用消耗品（19人分） 資料印刷代 11,400円… 3（1） テキストCD代 1,900円… 3（2）
	4 使用料	¥ 62,400	1,300円*2h*24	2,600円（1日）*24回
		対象経費の合計	¥ 206,100	
その 他 経 費				
	その他経費の合計	¥ 0		
合 計 額		¥ 206,100		